

1 研究主題

生きる力をはぐくむ情報教育・視聴覚教育の研究と実践

2 実践活動

本年度、支部内の全小・中学校に電子黒板が導入された。また、コンピュータ等の情報機器の更新やインターネット接続回線速度の改善が図られた。それに伴い、機器の使用法や活用法、実践事例研究等を各校の実情に応じて実践した。

(1) 電子黒板の導入

電子黒板の導入に伴い、各校において利用法についての実技研修会が実施された。また、校内研修等において電子黒板を利用した授業実践に取り組んだり、電子黒板の活用等についての事例研修や実技研修を行ったりした。

(2) コンピュータ等の情報機器の更新

コンピュータ等の導入後、年数の経過によるトラブルの発生や新しい周辺機器への未対応などがでてきつつあったが、Windows 7 コンピュータや新周辺機器への更新が進められた。

(3) インターネット接続回線速度の改善

郡内で要望していたインターネット接続回線速度の改善が実現された。ISDN接続であった学校に対してADSL接続への改善が図られ、授業での活用や公務・事務処理等の効率化が進められた。



3 今後の課題

- (1) 情報教育・視聴覚機器の導入、更新が進みつつある。教職員のICT活用のスキルアップを図り、効果的に機器の活用ができるように学校間で情報を交換し合い、研修を進めていくようにしたい。
- (2) インターネット接続回線速度の改善が図られ、児童・生徒が情報通信ネットワークを利用する機会が増えてくるのに伴い思わぬトラブルに発展することも予想される。新学習指導要領を踏まえ、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるようにし、情報モラル教育をしっかりと推進できるようにしていかなければならない。